



①再生した源兵衛川



②街中が「せせらぎ」遊歩道の案内板



③水中花ミシマバイカモの清掃



④ホタルの再生にも成功

①「水の都・三島」の清流のシンボルであった源兵衛川は、1960年代から湧水の減少が進み、渇水期には家庭雑排水の垂れ流しやゴミの放置により水辺環境が悪化。心を痛めた市民が立ち上がり、市民・NPO・行政・企業等がパートナーシップを組み、身近な環境改善を進める新たな市民運動であるグランドワーク活動に取り組みました。

②また、「街中がせせらぎ」をキャッチコピーに、源兵衛川の水辺の散歩道や、市内を散策でき楽しめる回遊ルートもつくりました。

③湧水の減少と水質悪化により市内から姿を消した水中花・三島梅花藻を復元、育成するために、1995年に湧水地に増殖基地・観光スポットとして環境整備を行った。現在では、増殖した三島梅花藻を各河川に移植し、原風景の再生を進めている。

④湧水が枯渇し、湿地状態となっていた川上上流部に水を流し、人工的なせせらぎを作り、ホタルが生育できる水辺環境を作り出す。グランドワーク三島が三島ホタルの会等と協力し、カワニナの飼育も行い、現在では、川にホタルが蘇った。